



2021年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年6月28日

上場会社名 象印マホービン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7965 URL <http://www.zojirushi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 市川 典男
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡本 茂久 (TEL) 06-6356-2368
 四半期報告書提出予定日 2021年7月1日 配当支払開始予定日 2021年7月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第2四半期の連結業績(2020年11月21日～2021年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第2四半期	42,504	6.7	4,841	55.0	4,787	54.0	3,075	51.3
2020年11月期第2四半期	39,819	△9.9	3,122	△23.6	3,108	△27.5	2,032	△30.4

(注) 包括利益 2021年11月期第2四半期 4,349百万円(151.7%) 2020年11月期第2四半期 1,727百万円(△23.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第2四半期	45.49	-
2020年11月期第2四半期	30.07	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第2四半期	96,969	76,352	78.1
2020年11月期	97,019	72,917	74.5

(参考) 自己資本 2021年11月期第2四半期 75,730百万円 2020年11月期 72,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	-	13.00	-	13.00	26.00
2021年11月期	-	15.00	-	-	-
2021年11月期(予想)	-	-	-	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年11月期の連結業績予想(2020年11月21日～2021年11月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,500	3.4	6,700	23.1	6,700	17.0	4,400	11.6	65.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年11月期 2 Q	72,600,000株	2020年11月期	72,600,000株
② 期末自己株式数	2021年11月期 2 Q	4,968,781株	2020年11月期	4,987,621株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年11月期 2 Q	67,617,766株	2020年11月期 2 Q	67,605,765株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ワクチン接種が進んだ米国や感染拡大の抑制に成功した中国では景気回復が加速した一方、東南アジアや日本においては外出行動や経済活動が制限されるなど、回復力の弱い状態が続きました。今後はワクチンの普及に伴い世界経済の回復が見込まれるものの、新たな変異ウイルスの発生やインフレのリスクに警戒感が高まりつつあります。

このような経営環境の中で、当社グループは2020年11月21日より、新しい日常における新たな中期2ヵ年計画『ADAPT Phase II』をスタートし、象印ブランドを現状の家庭用品ブランドから「食」と「暮らし」のソリューションブランドへ進化させるため、「領域の水平的拡大」、「領域の垂直的拡大」、「経営基盤の強化」に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年実績から2,685百万円増加し42,504百万円（前年同期比6.7%増）となりました。製品区分別では調理家電製品、リビング製品、生活家電製品共に前年を上回りました。連結全体の国内売上高は27,005百万円（前年同期比4.2%増）、海外売上高は15,499百万円（同11.5%増）となり、海外売上高構成比は36.5%となりました。海外では台湾の売上は減少しましたが、北米や中国、東南アジアでは前年実績を上回りました。

利益については、売上高の増加や原価の低減、販売費及び一般管理費の抑制により、営業利益は4,841百万円（前年同期比55.0%増）となりました。経常利益は4,787百万円（同54.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,075百万円（同51.3%増）となりました。

製品区分別の業績は次のとおりであります。

①調理家電製品

調理家電製品の売上高は、30,903百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

国内では、炊飯ジャーは、普及価格帯は前年実績を下回りましたが、かまどの炎のゆらぎを再現した最高級モデルの圧力IH炊飯ジャー「炎舞炊き」シリーズが好調に推移したことにより、全体としてはほぼ前年並みの売上を確保しました。電気ポットは市場の縮小傾向もあり低調に推移しました。電気調理器具では、緊急事態宣言の再発令に伴う外出自粛により、巣ごもり消費で需要の高いホットプレートやオーブントースターなどの販売が伸長し、前年実績を大幅に上回りました。

海外では、炊飯ジャーや電気ポット、電気調理器具が北米市場や中国市場、東南アジア市場で好調に推移しました。特に北米市場では、巣ごもり消費による需要の拡大によって調理家電製品の販売が大幅に増加しました。

②リビング製品

リビング製品の売上高は、9,231百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

国内では、業界初となる“せん”と“パッキン”がひとつになった「シームレスせん」を採用したステンレスマグが好調に推移するなど、ステンレスボトルが販売を牽引し、減少の大きかった前年実績を大幅に上回りました。

海外では、主力の中国市場では、ステンレスボトルは回復基調にあるものの、北米市場や東南アジア市場で低調に推移したため、全体では前年実績を下回りました。

③生活家電製品

生活家電製品の売上高は、1,515百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

国内では、加湿器は需要増に供給が追いつかず販売が減少しましたが、衛生志向の高まりにより、ふとん乾燥機や空気清浄機、食器乾燥器が好調に推移し前年実績を上回りました。

④その他製品

その他製品の売上高は、854百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

・地域別製品区分別売上高

(単位：百万円)

		日本	海外				計	合計	前年 同期比 (%)
			アジア		北米	その他			
			内、中国						
売上高	調理家電	21,425	5,738	2,235	3,728	10	9,477	30,903	8.5
	リビング	3,467	4,880	3,239	596	286	5,764	9,231	2.3
	生活家電	1,478	36	—	—	—	36	1,515	5.4
	その他	633	213	63	6	1	220	854	△0.7
		27,005	10,870	5,538	4,331	297	15,499	42,504	6.7
構成比(%)		63.5	25.6	13.0	10.2	0.7	36.5	100.0	—

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が49百万円、負債が3,485百万円減少した一方、純資産は3,435百万円増加しました。その結果、自己資本比率は3.6ポイント増加し78.1%となりました。

総資産49百万円の減少は、流動資産160百万円が減少した一方、固定資産111百万円が増加したことによるものであります。

流動資産160百万円の減少は主に、現金及び預金5,196百万円、原材料及び貯蔵品454百万円が増加した一方、受取手形及び売掛金898百万円、電子記録債権139百万円、有価証券400百万円、商品及び製品3,437百万円、その他流動資産837百万円が減少したことによるものであります。また、固定資産111百万円の増加は主に、工具、器具及び備品159百万円、リース資産122百万円、ソフトウェア232百万円、繰延税金資産145百万円が減少した一方、投資有価証券411百万円、退職給付に係る資産307百万円が増加したことによるものであります。

負債3,485百万円の減少は、流動負債2,394百万円及び固定負債1,091百万円が減少したことによるものであります。

流動負債2,394百万円の減少は主に、1年内返済予定の長期借入金1,500百万円が増加した一方、支払手形及び買掛金2,930百万円、未払費用598百万円、未払法人税等151百万円、その他流動負債128百万円が減少したことによるものであります。また、固定負債1,091百万円の減少は主に、繰延税金負債474百万円が増加した一方、長期借入金1,500百万円が減少したことによるものであります。

純資産3,435百万円の増加は主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上3,075百万円、剰余金の配当の支払878百万円、その他有価証券評価差額金187百万円、為替換算調整勘定984百万円が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績の状況をふまえて、銅やアルミなど原材料の高騰や為替変動による調達コストの上昇が下期から想定されることを勘案し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、2021年6月21日に下記のとおり修正を行っております。

なお、今回から業績予想で前提としております為替レートを1ドル=110円（期初は1ドル=105円）に変更しております。

<通期連結業績予想>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	百万円 76,000	百万円 5,700	百万円 5,800	百万円 4,000	円 59.16
今回予想 (B)	77,500	6,700	6,700	4,400	65.07
増減額 (B-A)	1,500	1,000	900	400	—
増減率 (%)	2.0	17.5	15.5	10.0	—
(ご参考) 前期実績 (2020年11月期)	74,947	5,440	5,725	3,943	58.34

※ なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,391	39,588
受取手形及び売掛金	11,720	10,821
電子記録債権	1,575	1,436
有価証券	400	—
商品及び製品	19,994	16,556
仕掛品	268	174
原材料及び貯蔵品	2,053	2,507
その他	3,258	2,420
貸倒引当金	△7	△12
流動資産合計	73,654	73,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,774	12,844
減価償却累計額	△10,133	△10,237
建物及び構築物（純額）	2,640	2,607
機械装置及び運搬具	3,662	3,693
減価償却累計額	△3,257	△3,281
機械装置及び運搬具（純額）	404	412
工具、器具及び備品	9,441	9,584
減価償却累計額	△7,687	△7,990
工具、器具及び備品（純額）	1,753	1,594
土地	7,429	7,431
リース資産	949	1,022
減価償却累計額	△334	△529
リース資産（純額）	615	492
建設仮勘定	3	55
有形固定資産合計	12,848	12,593
無形固定資産		
ソフトウェア	774	541
その他	121	134
無形固定資産合計	896	676
投資その他の資産		
投資有価証券	6,565	6,977
繰延税金資産	617	472
退職給付に係る資産	2,150	2,458
その他	294	306
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	9,620	10,206
固定資産合計	23,364	23,476
資産合計	97,019	96,969

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,967	6,036
1年内返済予定の長期借入金	—	1,500
リース債務	335	307
未払費用	5,832	5,233
未払法人税等	1,039	888
賞与引当金	1,129	1,075
製品保証引当金	179	175
その他	897	768
流動負債合計	18,381	15,986
固定負債		
長期借入金	1,500	—
リース債務	271	177
繰延税金負債	770	1,245
退職給付に係る負債	2,853	2,880
その他	324	326
固定負債合計	5,720	4,629
負債合計	24,102	20,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,022	4,022
資本剰余金	4,214	4,243
利益剰余金	63,474	65,671
自己株式	△965	△961
株主資本合計	70,746	72,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,913	2,100
為替換算調整勘定	129	1,113
退職給付に係る調整累計額	△471	△459
その他の包括利益累計額合計	1,570	2,754
非支配株主持分	599	622
純資産合計	72,917	76,352
負債純資産合計	97,019	96,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月21日 至 2020年5月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月21日 至 2021年5月20日)
売上高	39,819	42,504
売上原価	26,585	27,701
売上総利益	13,234	14,803
販売費及び一般管理費	10,111	9,961
営業利益	3,122	4,841
営業外収益		
受取利息	44	27
受取配当金	35	34
仕入割引	15	18
受取ロイヤリティー	22	13
受取賃貸料	56	55
為替差益	102	233
その他	31	36
営業外収益合計	307	419
営業外費用		
支払利息	15	13
売上割引	231	213
持分法による投資損失	57	224
その他	18	21
営業外費用合計	322	473
経常利益	3,108	4,787
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	14	3
情報セキュリティ対策費	39	—
新型コロナウイルス感染症による損失	29	—
特別損失合計	83	3
税金等調整前四半期純利益	3,024	4,790
法人税、住民税及び事業税	562	1,111
法人税等調整額	364	540
法人税等合計	927	1,651
四半期純利益	2,097	3,138
非支配株主に帰属する四半期純利益	64	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,032	3,075

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月21日 至 2020年5月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月21日 至 2021年5月20日)
四半期純利益	2,097	3,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△339	187
為替換算調整勘定	56	910
退職給付に係る調整額	10	12
持分法適用会社に対する持分相当額	△96	100
その他の包括利益合計	△369	1,211
四半期包括利益	1,727	4,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,666	4,260
非支配株主に係る四半期包括利益	61	89

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年11月21日 至2020年5月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年11月21日 至2021年5月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,024	4,790
減価償却費	1,099	1,118
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	12	△57
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△304	△308
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	66	39
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△8	△3
受取利息及び受取配当金	△79	△61
支払利息	15	13
持分法による投資損益(△は益)	57	224
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3
固定資産売却損益(△は益)	0	△2
固定資産除却損	14	3
情報セキュリティ対策費	39	—
新型コロナウイルス感染症による損失	29	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,617	1,208
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,497	3,280
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,264	△3,163
未払費用の増減額(△は減少)	△670	△658
その他	481	704
小計	8,631	7,129
利息及び配当金の受取額	197	48
利息の支払額	△15	△14
情報セキュリティ対策費の支払額	△39	—
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	△29	—
法人税等の支払額	△795	△1,266
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,948	5,897
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△258	△386
定期預金の払戻による収入	100	286
有価証券の売却及び償還による収入	—	400
有形固定資産の取得による支出	△654	△339
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△76	△211
投資有価証券の取得による支出	△14	△15
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	5
その他	4	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△899	△253
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△160	△193
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△879	△879
非支配株主への配当金の支払額	△103	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,144	△1,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	542
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,939	5,045
現金及び現金同等物の期首残高	29,005	32,582
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,944	37,628

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。